

# A TOUR OF THE DEVELOPING WORLD

炭原 美波  
西谷 沙紀  
阿川 るい

# Sub-Saharan Africa

- ・ 高い出生率
- ・ 低い寿命
- ・ 急速な最年少の人口増加
- ・ youth-bulge ( ユース・バルジ )  
→ 「過剰なまでに多い若い世代」

1950年以降：4倍 → 2050年まで：3倍

半世紀前：先進国がsub-Saharan Africaの3倍

半世紀後：sub-Saharan Africaが先進国の2倍

\* 最年少国でもあり、最貧国でもある sub-Saharan Africa

- ・ 1人当たりの収入in sub-Saharan Africa  
未だに、先進国平均のたった5%
- ・ 1日1ドル以下の生活  
→最貧国

\* Human developmentが低い

Human develop(人間開発)

社会の豊かさや進歩を測るのに、経済指標だけでなく、これまで数字とし

て現れなかった側面も考慮に入れる。

- ・ 寿命
- ・ 読み書き
- ・ 生活水準

## \* 健康被害

→ AIDS

- ・ 全世界のHIV-positiveの人口の68%
- ・ 早すぎる死 → 経済的コストへの影響
- ・ 長期間の社会的コスト

AIDSにより寿命が短くなる



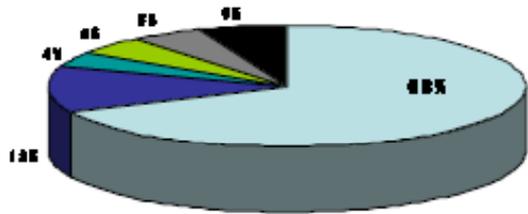
Human capital ( 人的資本 ) への投資の減少

10人に1人のAIDS孤児

# HIV/エイズ感染率・感染者数

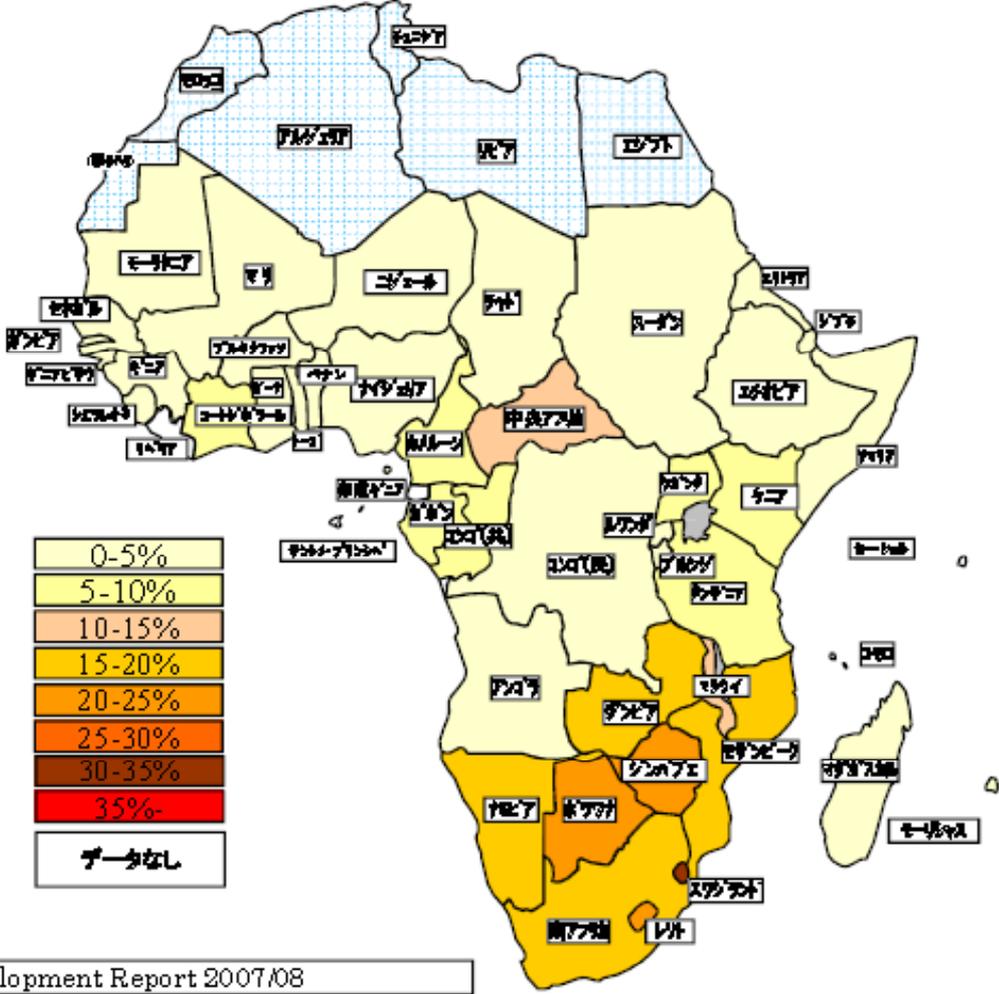
## <集中する感染者>

約3320万人中2250万人(約68%)がサブサハラ・アフリカに集中



- サブサハラ・アフリカ
- 南アジア・東南アジア
- 北アメリカ
- 南アメリカ
- 東ヨーロッパ・中央アジア
- その他の他

## <高い感染率> (15-49歳人口に占めるHIV/エイズ感染者の割合)



参考資料: UNDP Human Development Report 2007/08

\* 南アフリカ

・ 成人のAIDS感染率 → 19%

・ 寿命： 現在は53歳

※もしAIDSがなければ・・・

寿命：66歳

## 南アフリカ & ナイジェリア

1. 最悪なAIDS 感染国

2. 貧しい北部のイスラム系と南部の裕福なクリスチャン間での緊迫状態

- ・ 広がっている出生率の差異
- ・ model democracies

## Arab World

- \* 若く、急速な成長

- \* 高い出生率

1. パレスチナ自治区、イエメン、ソマリア、スーダン、イラク
2. エジプト、シリア、サウジ・アラビア
3. アルジェリア、チュニジア、モロッコ、リビヤ、レバノン、湾岸諸国

- \* 高齢社会へと変化と youth-bulge の割合の減少

## Arab Worldでの人口増加

- 出生率の低下
- youth-bulgeの再上昇

## Failure

- 石油
- 責任能力の乏しい統治
- 宗教ベースシステム
- 中流階級のための雇用機会

\* 最大の被害者 → 若者

\* イスラム過激派の訴え

## Non-Arab Muslim Asia

### 1 . Turkey

- イスラム系の国の中で高齢な国
- 人口置換水準に近い出生率
- イスラム系による独裁政治制度

### 2. The Central Asian Republics

- 出生率：人口置換水準あたり
- youth-bulgeの減少
- 天然ガス、石油の保持
- ロシアとの関係

### 3. Iran

- 減少する出生率
- 1人当たりのGDP

### 4. Afghanistan, Pakistan and Bangladesh

- 急速な最年少人口増加
- 最貧国 → Afghanistan and Bangladesh
- Pakistan → テロ

### 5. Indonesia and Malaysia

- 出生率 → 人口置換
- Chinese minority と Malay majority

# 中国・東アジア



\* the Tigers  . . . “アジアの虎”といわれる、  
香港・シンガポール・マレーシア・タイ・フィ  
リピンなどの急速に工業化した国、地域

1960年代後半まで . . . 出生率6.0

1990年代はじめ . . . . . 2.1

現在 . . . . . 1.7

過去30年は、低い依存率と労働人口の大きなシェアで人口統計は経済成長を助けた

**BUT!!**

2015年に高齢層が急増し始め、ついに労働人口が減少し始める

労働者は、働いていない高齢者に賃金を分け与えなければならないので、高齢者の数が増えるに従ってその分の急成長（給料の増加）が必要

## 韓国・シンガポールでの対策

- \* pronatal tax break
- \* baby bonuses
- \* government-sponsored dating service

特に韓国  では



移民受け入れに積極的に

- \* 低い退職年齢
- \* 不十分で未熟な公的年金制度

## インド・南アジア



- \* インドや南アジアでの人口推移は、東アジアほど早く進んではない
- \* 2010年までにインドは中国を抜かし人口が世界一に  
2030年までに労働力規模でも中国を抜かす

しかし、インドの労働者には多くのハンディ  
キャップがある

- ① 総人口の71%を占める田舎の人口の大多数が  
経済成長部門に携わる準備ができていない

人口に占める読み書きのできないヒトの割合

インド  39%      中国  7%

- ② 身分制度上での大きな不平等

多数派ヒンドゥーVS少数派ムスリム  
パキスタンとの対峙  
女性差別

## インドの利点

- \* 高齢化の波が遅く、緩やかにやってくる
- \* 中国は「人口ボーナス」期を過ぎてしまったが、インドのボーナス期はこれからやってくる
- \* 将来的に役立つアメリカとの共通点
  - 〔自由民主主義の伝統
  - 〔敵に対し闘争心をあらわにする

2015年以降、労働力が減少に向かう中国と対照的に、インドは安定した労働力増加を続ける

## ラテンアメリカ

1960年代始め以降、出生率は  
6.0から2.1に低下  
その中でも、3つに分類できる



### ①出生率が急激に落ちた

IN ブラジル・チリ・コスタリカ・キューバ

### ②出生率がいまだに3.0を超えている

IN ボリビア・ベリーズ・パラグアイ・・・

### ③上記2つの間にある

IN メキシコ・ペルー・ベネズエラ

\* ラテンアメリカの高齢化の波は、東アジアよりもかなり緩やかで小さい

しかし！さまざまな問題を引き起こしている



社会の安全網が不十分  
年金の補償内容にむら  
生活水準が上がっていない

\* アメリカ  の介入

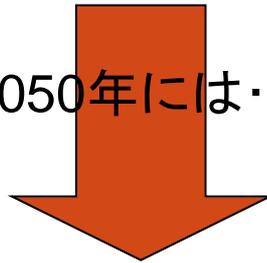
メキシコや中央アメリカでは、アメリカに自国の発展と安定を育成するための長期的で大きな役割を果たすよう要求する傾向がある

# 1.ロシア

( 1 ) ロシアの人口

→ 1 . 4 億人 ( 日本 1 . 3 億人 )

2050年には…



1 . 1 億人

# 1.ロシア

## ( 2 ) ロシアの出生率

→ 1 . 3 人

1 9 6 0 年頃から減少

- ( 原因 )
- ・ 妊娠中絶の合法化
  - ・ 女性の社会進出

会社の上級管理職の

約 4 0 % が女性！

etc.

# 1.ロシア

## ( 3 ) ロシアの平均寿命

→ 65 . 9 歳 ( 男性 59 歳 女性 72 歳 )

日本 83 歳

アメリカ 79 歳

フランス 81 歳

ロシアの平均寿命が短い原因は？

# 1.ロシア

\* ロシアの平均寿命低下の原因

( 1 ) アルコール中毒

( 2 ) 医療保健制度の疲弊

( 3 ) 自殺率の上昇

etc...

# 1.ロシア

## ( 4 ) ロシア人口減少への対策

- ・ 出産・ 育児手当
- ・ 「母親資本」制度
- ・ 移民の積極的受け入れ
- ・ 海外移住者の帰国の奨励

## 2.東ヨーロッパ

### ( 1 ) 東ヨーロッパとは

- ・ウクライナ
- ・スロバキア
- ・チェコ
- ・ハンガリー
- ・ブルガリア
- ・ベラルーシ
- ・ポーランド
- ・モルドバ
- ・ルーマニア
- ・ロシア

## 2.東ヨーロッパ

### ( 2 ) 東ヨーロッパの高齢化の問題点

- ・ 世界トップクラスの速さで高齢化 ( 資料 )
- ・ 経済力と高齢化
  
- ・ “fluid replacement”とは？